



八幡小だより 9月号

令和8年9月1日

八潮市立八幡小学校

児童390名 15学級

かけがえのない一人一人

校長 小久江 桂子

2学期がスタートしました。夏休みを終え、一回りたくましくなった子供たちの笑顔が学校に戻ってきたことを、何よりも嬉しく思っております。安全に過ごしてくださり、ありがとうございました。

2学期も『みんな笑顔の八幡小学校』の具現化に向け、なかよし宣言『仲間を思いやります。自分がされて嫌なことはしません。』の行動化を推進してまいります。

さて、幕末の教育者であり思想家でもある吉田松陰は、自らが開いた松下村塾で多くの若者を育て上げました。この松下村塾からは、高杉晋作や伊藤博文など、のちの日本を大きく動かす人材が数多く輩出されました。吉田松陰の教育の根底にあったのは、次のような強い信念だそうです。

「人にはみな、一つとして無用の才能はない。ただ、その使い方がいまだ分からないだけである。」

吉田松陰は、塾生たちの欠点を探すのではなく、その人が持つ『よいところ』を徹底的に見つけ、褒め、伸ばしました。「あなたには、こんなに素晴らしい力がある」。そう認められた若者たちは、自信を持ち、自分の個性を伸ばしていったそうです。



温かい学校をつくる出発点は、まさに、この吉田松陰の眼差しにあると、私は感じています。子供たちは一人一人、違ったよさを持っています。例えば、運動でリーダーシップを発揮する子。勉強が得意な子。困っている友達にそっと寄り添える優しさをもつ子。花や生き物の世話を進んで続けられる子。どれもが等しく尊い、かけがえのない子供一人一人の輝きです。

友達のよさを認め、リスペクトし合える関係が育っていれば、『いじめ』という形で人を排除する冷たい空気は生まれません。いじめを生まない最大の防壁は、『みんな違って、みんなに価値がある』と、子供たち自身が肌で感じられる環境です。

9月は、『いじめゼロ強化月間』です。いじめのない温かい環境をつくるためには、学校と家庭が同じ眼差しで子供たちを支えることが不可欠です。私たち教職員もまた、吉田松陰のように子供たち一人一人の可能性を信じ、深い愛情と情熱をもって向き合ってまいります。

御家庭でもぜひ、お子様の『できたこと』や『優しい行動』をたくさん褒めてあげてください。『自分は大切な存在であるという自己肯定感』こそが、他者を思いやる心へとつながります。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様とともに、大切な子供たちのために尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



今年度も八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。
ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)